

ISS・きぼう ウィークリーニュース

平成15年5月20日発行 第52号 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

- ☆最初のISS構成要素打上げから1642日経過しました
- ☆第7次長期滞在クルーのISS滞在は22日経過しました

☆ISS動向

ユーリ・マレンченコとエドワード・ルー両宇宙飛行士がISS滞在を開始してから3週間が経過しました。最初の2週間で、ISSの運用やメンテナンスに精通するための習熟訓練を完了し、その後の1週間は、緊急避難訓練や火災時の消火訓練を、地上のフライトコントローラと交信しながら行いました。

5月4日に帰還した第6次長期滞在クルーは、ロシアの星の街で帰還後のリハビリテーションや報告活動を続けています。ケネス・バウアーソックスとドナルド・ペティの両宇宙飛行士は今週、米国へ帰国する予定です。

☆宇宙で見る皆既月食

米国時間5月15日(木)、アメリカ、ヨーロッパ方面で皆既月食が見られました。ISSのクルーにとっては睡眠時間帯に当たりましたが、皆既月食の観測を行い、撮影に成功しました。



コンピュータでISS運用のシミュレーションを行うマレンченコ宇宙飛行士



ISSから撮影した月食

“トピック”

宇宙に夢をかけた日本と米国の高校生の活動についてご紹介します。

☆STS-107 「チャレンジ！スペースシャトルで宇宙実験」

高校生を対象に実施したSTS-107タンパク質結晶成長実験「チャレンジ！スペースシャトルで宇宙実験」の最終レポート審査会が行われ、以下の通り各賞が決定しました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。

最優秀賞	埼玉県立浦和第一女子高等学校	努力賞 (順不同)	北海道立札幌南高等学校
優秀賞	山口県立厚狭高等学校		江戸川学園取手中・高等学校
準優秀賞 (順不同)	土浦日本大学高等学校		桐朋女子高等学校
	茗溪学園高等学校		日本女子大学附属高等学校
努力賞 (順不同)	旭川工業高等専門学校		慶應義塾湘南藤沢高等学校
	北海道立札幌啓成高等学校		宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校

詳細はこちらをご覧ください。

<http://jem.tksc.nasda.go.jp/education/sts107/107edu15.html>



最優秀賞を受賞した浦和第一女子高等学校

☆高校生モデルロケットコンテスト（米国）

米国時間5月10日(土)、米バージニア州の空に100機のモデルロケットが打ち上げされました。

これは「Team America Rocketry Challenge」と呼ばれ、ライト兄弟飛行の100周年を記念するイベントのひとつとして、全米の高校生を対象に米航空宇宙工業会(AIA)、米国ロケット協会(NAR)、NASA等によって開催されたものです。800校を超える参加校から予選を勝ち抜いた100校が自慢のロケットを打ち上げました。

競技種目はエッグリフトと呼ばれ、宇宙飛行士に見立てた生卵2個を2段式ロケットのペイロードセクションに搭載し、1,500フィート(約460m)まで打上げ、そして卵を割らずに地上に回収することを競うものです。

優勝したメリーランド州のBoonsboro High Schoolチームは、NASAのオキーフ長官とAIAのJohn Douglass CEOから表彰され、他の上位4校と併せて総額59,000ドルの賞金を受け取りました。

なお、上位10チームはマーシャル宇宙飛行センター(MSFC)が主催するStudent Launch Initiative: SLIに参加し、NASAの技術者の協力を得て高度1マイル(約1.6km)を目指す予定です。



© AIA

表彰を受ける優勝チーム

2003年10月1日から宇宙開発事業団は独立行政法人宇宙航空研究開発機構に移行します。

問い合わせ先：宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp/> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

*「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。